

放送番組審議会議事録

1. 2024年6月4日（火）
2. KTS 別館（鹿児島シティエフエム株式会社 2F 会議室）
3. 委員総数 5名
出席委員数 4名
出席委員 南徹、中尾成昭、堤玲子、小段康平
放送事業者側出席者 金子貴治、福藺宏美（番組パーソナリティー）、内村明香
4. 番組審議
「空とぶ TAMAGO～情報宅配便～」
木曜日（偶数週）11：30～13：30
5. 別紙参照
6. 自社放送 : なし

<議 事>

番組名： 「空とぶ TAMAGO～情報宅配便～」

放送日時： 4/25 (木) 11:30～13:30

(番組説明)

パーソナリティ 第2・第4木曜日を担当しています。ニュース、お天気にプラスして、かごしまのアートイベントやアーティスト情報、ギャラリー会場などの紹介をする「かごアートの窓」、第2木曜日に鹿児島を拠点に各地で活躍している人や活動内容を紹介する「きらり★ステキビト発見隊」、第4木曜日に産前産後や育児中に気になることをゲストに質問したり、気軽に参加できる体験型のイベントや講座情報などを紹介したりする「ぴよっこ通信」、13時台には暮らしに役立つプチ情報を紹介する「いろどりポッケ」の4つのコーナーを設置しています。

委員 誰にでも聴き取りやすい聴いていて心地よくなる声でした。

子育てにトピックを当てるのはいいなと思いました。今回紹介した取り組みが、「リスニングママプロジェクト」という子育てに悩んでいる方に対して、このような入り口もありますよという紹介だったので勉強になりました。鹿児島市も子育て支援を重視しているので、自治体などと一緒に取り組むことでさらに広がっていったらよいですね。

委員 声を聴いてとても元気がもらえました。ゲストの劇団の方のお話は、普段、劇などに馴染みがない私にとっても興味深いものでした。劇団さんの良さや取り組みなどをもっと深掘りしても良いかもしれません。トピックの立て方もとても良かったです。

子育ても介護も全く同じ現象が起きていて、どちらも家庭の中の問題にさせられているのが現状です。子育てと仕事との両立支援に関しては様々な支援や法案が通っていますが、おそらく今年度中に介護と仕事との両立支援が始まってくると思います。今後、キッチンヘルパーさんなどのお母さん達がちょっとお願いしてみようかな？と思う取り組みなど、お母さん達の味方になるような情報を伝えていって欲しいです。

最後に一つだけ、どうしても子育ての話になると、ゲストも含めて女性中心の話になりがちなので、男性の目線も意識して番組をつくと良いかもしれません。

委員 心地よく耳に入ってくる声で内容もよくまとまっていたと感じました。ぴよっこ通信のリスニングママプロジェクトですが、お悩み相談は20分を超えると有料になるのでしょうか？そこが少し分かりにくかったので、もう少し突っ込んで聴いてみてもよかったですと思います。また、選曲も個人的に好みでした。

委員 優しい語り口で、聴きやすかったです。テーマが「この時季に欲しいアイテムは？」でしたが、4月下旬は微妙な時季で定義がよく分からないので、この時季についての説明があっても良かったのでは？と感じました。

シティ FM ニュースと KTS ニュースがありましたが、一つだけでも良いので、他局が放送していない、フレンズ FM や KTS が独自にリサーチしたニュースを取り入れたらクローズアップされるのではないかと聴いていました。マスコミは、あやつり人形になってはいけない、アメリカで言うところの CNN と FOX のように相反する意見のニュースがあってもいいのでは？と思います。

(番組審議を終えて)

パーソナリティ

この日を迎えるまでずっと緊張していました。パーソナリティとして活動を始めてから、審議の場で細やかにご意見をいただくことは初めてだったので、大変貴重な時間でした。